



2024年5月20日

各位

会社名 ケミプロ化成株式会社
 代表者名 代表取締役社長 兼 俊 寿 志
 (コード: 4960 東証スタンダード)
 問合せ先 執行役員社長室長 竹内 亨
 (TEL: 078-393-2535)

第2期中期経営計画の着地に関するお知らせ

当社は、2022年3月期を初年度とし、3ヶ年（2021年度から2023年度）で推進する第2期中期経営計画（以下、本計画という）を推進してまいりました。本計画の事業年度の完了に伴い、3ヶ年の経営目標ならびに業績の着地について、以下の通りお知らせいたします。

記

1. 経営目標ならびに業績の結果

(1) 経営目標

(単位: %)	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期		
	実績	実績	計画	修正計画 注①	実績
経常利益率	2.7	1.2	5.0	2.0	1.4
自己資本利益率 (ROE)	3.9	1.6	7.0	2.5	2.7
自己資本比率	34.0	33.3	35.0	34.0	34.1

* ご参考: 2021年3月期実績 (経常利益率: 1.2%、ROE: 4.1%、自己資本比率: 33.2%)

注① 詳細は、2023年5月19日に開示した「中期経営計画の進捗と経営目標ならびに業績計画修正のお知らせ」ご参照

(2) 業績

(単位: 百万円)	2021年 3月期	2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期	
		計画	実績	修正計画① 注②	実績	修正計画② 注③	実績
売上高 注④	9,553	9,300	9,743	9,700	9,760	9,100	9,236
経常利益	110	150	264	120	121	100	132
当期純利益	180	100	179	70	71	80	126

注② 詳細は、2023年4月20日に開示した「2023年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」ご参照

注③ 詳細は、2023年10月20日に開示した「2024年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」ご参照

注④ 2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用した影響により2022年3月期以降の業績における売上高は、それ以前に比べ約800~1,000百万円程度の減少影響があります。

2. 第2期中期経営計画における経営目標ならびに業績計画結果のまとめ

当中期経営計画期間は、新型コロナウイルス感染症の影響により減速していた経済が緩やかな回復に向かい、やがて、正常化する一方、金融不安や円安進行のほか、度重なる地政学的リスクの勃発とその長期化などにより、需給が不安定になるほか、原材料やエネルギー価格が高騰し続けるなど、数々の逆風や課題への対応を余儀なくされました。

この間、業績につきましては、計画修正を強いられるなど、極めて厳しく、難しい状況が続きましたが、各事業年度とも黒字を達成することができました。

これは本中期経営計画の基本方針である「Reborn to Flexible」を愚直に実行し、逆風や課題への対応を通じ、様々な変化に対処してきた賜物であると受け止めています。

今後につきましても、本中期経営計画を通じてレベルアップした対応力が、次期中期経営計画の達成の推進力となり、企業価値ならびに株主価値の向上の実現に寄与するものと考えております。

以 上

《ご参考》本計画の概要

①名称

ケミプロ化成経営革新プランⅡ～Reborn to Flexible～

②基本方針

《Reborn to Flexible》

「2021年度からの3ヶ年でReborn（再生）を完了し、

Flexible（しなやかな）企業を目指す」

*Flexible（し・な・や・か・な）の意味

し	消費者（顧客）目線の「し」	社会性が高い企業
な	なくてはならない「な」	永続性が高い企業
や	役割分担が上手い「や」	応用力が高い企業
か	環境順応性が高い「か」	柔軟性が高い企業
な	永く稼げる安定収益モデルを持つ「な」	強靱な企業

③経営目標(当初最終年度目標：2024年3月期)

経 常 利 益 率	5%
自己資本利益率 (ROE)	7%
自 己 資 本 比 率	35%

④ 重点施策

◎12 のタスクフォースの目標を達成することにより、経営諸課題を解決し経営目標・業績計画の達成を図る。

(注) 詳細は2021年5月20日に開示した「新中期経営計画策定に関するお知らせ」の別添資料をご参照下さい。

◎SDGsへの取組み

・各タスクフォースに目指すSDGsを設定

・全役員、管理職が『私のSDGs宣言』(*)を行い実践

*：各自の業務に関わる、関わらないを問わないSDGsにつながる個人別行動宣言